

新型コロナウイルス感染防止対策について

令和2年11月28日
鶴岡市立加茂水族館

加茂水族館では、ご来館の皆様・水族館スタッフの安全・安心のため、新型コロナウイルスの感染予防および拡大防止の取り組みを下記の通り実施いたします。

【ご来館の皆様へのお願い】

- 咳や喉の痛み、発熱など風邪のような症状がある場合は来館を控えていただきます。
- 必ずマスク着用で入館いただき（幼児、特に2歳未満のお子様はその限りではありません。）、咳エチケットに協力いただきます。
- 入館時、お手洗い後などはこまめに手指の消毒を行っていただきます。
- 館内に入るときは、消毒マットにて靴底の消毒をしていただきます。
- 館内においては、大きな声での会話はご遠慮いただきます。
- 入館時や観覧時は、2m程度の間隔を空けるようにしていただきます。クラゲ大水槽前の観覧スペースやひれあし広場などの屋外におきましても同様です。
- 観覧時の間隔確保のため、1時間あたり240人程度を目安とし、入館制限を行うこともあります。

【入館するときは】

- 入館前に検温を行います。発熱が確認された場合は、ご本人とお連れの方の入館をお断りします。
- 来館者に感染が確認された場合の連絡を目的に、連絡先を伺います。
- 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用を推奨します。
- 山形県公式 LINE アカウントを活用した感染拡大防止システム「山形県新型コロナウイルス安心お知らせシステム」の利用を推奨します。

【水族館での感染防止対策】

- スタッフは毎朝の体温測定や体調観察を行い、異常がない場合業務に当たります。
- スタッフはマスクを着用し、手指の消毒を徹底します。
- 館内、特に手の触れる場所（手すり、ドア、机など）を定期的に消毒、清掃します。
- 受付には飛沫防止用のシートを設置します。
- 飛沫感染防止のため、トイレのエアドライヤーの使用は停止します。
- 3密防止の注意喚起として、館内放送やスタッフの巡回を適宜行います。
- 館内の換気のため、自動ドアを適宜開放します。
- 密集防止対策として、館内プログラムは全て休止します。
- 密接防止対策として、館内展示通路には2m間隔の目安となる床面表示物を設置し、タッチプールの利用、ボランティアガイドの活動は休止します。

【売店・レストランの営業について】

- 売店「海月灯り」では入店人数を制限して営業し、売店だけの利用はお断りします。レジ前には飛沫防止のビニールシートを設置します。
- レストラン「沖海月」では席にアクリルパーティションを設け、使用ごとに消毒を行います。
- 軽食売店「波の華」では券売機での販売となり、受け渡しのカウンターには飛沫防止のビニールシートを設置します。

※上記対策は、政府・山形県の方針を踏まえ、鶴岡市新型コロナウイルス感染症対策本部が決定した対応方針に基づいています。その他、日本動物園水族館協会作成の「動物園・水族館における新型コロナウイルス感染対策ガイドライン（改訂第3-1版）」を参照しています。